

# 就航船のための バラスト水処理装置開発と設置

**日時** 2013年5月30日(木) 13:30~16:40  
**会場** 連合会館 5階 502 (東京都千代田区神田駿河台3-2-11)  
**受講料** 42,000円(税込) STbook会員価格 39,900円(税込) \*資料代含む

## 講師

**第1部** 吉田 勝美 氏 (株)水圏科学コンサルタント 取締役事業本部長 兼 沖縄支店 支店長  
**第2部** 入沢 真生 氏 (一財)日本海事協会 材料機装部 主管

## プログラム

**第1部** バラスト水処理装置の概要と開発最新動向 吉田 勝美 氏 【13:30~15:00】  
**第2部** バラスト水処理装置 就航船設置の課題と実際 入沢 真生 氏 【15:10~16:40】

外来水生生物の移動を規制する世界の強い規制である「バラスト水管理条約」の発効が近づいてきている。規制の中には、船舶への搭載が義務付けられるバラスト水処理装置をいかにバラスト水管理条約本セミナーでは、バラスト水管理条約の型式承認に係るガイドラインでバラスト水処理装置に要求される内容等を理解して頂いた後、現在、型式承認されている処理装置と開発の最新動向を説明する。

2004年にIMOにて採択されたバラスト水管理条約は、まだ発効には至っていないものの、近いうちに発効条件を満たす国が増えている。一方で、就航船へのバラスト水処理装置搭載は世界的に進んでおらず、条約が発効した際には、処理装置の搭載を至急実施しなければならない船舶が発生する。日本海事協会では処理装置搭載時に予想される問題点の調査を実施してきたが、これについて就航船への装置搭載に関連する条約の最新状況及びIMOの動向と合わせて説明する。

- バラスト水管理条約が要求する内容
  - バラスト水管理条約における規制内容
  - 型式承認に係るガイドライン(2009)でバラスト水処理装置に要求されている内容
  - 米国の動向
- 国内外で型式承認されたバラスト水処理装置の特徴
  - バラスト水処理装置の分類
  - 分類ごとの特徴と開発動向

- バラスト水管理条約の現状とIMOの動向
  - 現在の批准状況と適用期
  - 処理装置の搭載状況と問題点
  - 適用期の変更
  - バラスト水排出に関する地域規制
  - 米国内海域における規制
  - その他の地域における規制
- 就航船への搭載
  - 事前検討項目
  - 処理装置の選択
  - 搭載工事と船級検査
  - 搭載に関する問題点
- 日本海事協会の取り組み
  - ガイドラインと承認・鑑定
  - コンサルタントサービス
  - 就航船搭載に関する試設事例
- まとめ

このセミナーは  
終了しました

セミナー申込用紙 セミナー名：ST130530(就航船のためのバラスト水処理装置開発と設置) DM

会社名 団体名			
部署・役職			
ふりがな		〒	
氏名	住所		
TEL	FAX		支払方法
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。		
STbook会員(無料)に <input type="checkbox"/> 入会する <input type="checkbox"/> 登録済み		※E-mailアドレスが必須です。 ※左に✓印をつけてご入会いただくと、この申込からSTbook会員価格で申込できます。	
今後、弊社からのご案内が不要な方は以下に✓印をつけてください。 <input type="checkbox"/> 郵送DM不要 <input type="checkbox"/> E-mail不要	通信欄		※銀行振込の場合は振込予定日を記載ください 月 日

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。  
 ※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

■お申込み方法  
 必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。  
 または当社ホームページからお申し込みください。

■受付完了のご連絡  
 受付完了後、3営業日以内に請求書、受講券、会場案内図を郵送いたします。

■お支払  
 銀行振込にてお願いいたします。  
 受講料のご入金、開催日までお願いいたします。やむなく開催日以降にご入金の場合は、当日現金でお支払またはお申込みの際に振込予定日をご記入ください。  
 銀行振込の場合、領収証の発行はいたしません。

■個人情報の取り扱い  
 ご記入の個人情報は、商品の発送、事務連絡、ご案内等に使用いたします。